

企画展

日本の

武器・武具

「追求される実用と興趣」

令和7年

4/19 (土)

6/29 (日)

9時～17時

(入館は16時30分まで) ※期間中は休館日なし

三河武士のやかた家康館

企画展示室1(特別展示室)・企画展示室2



【主催】岡崎市・岡崎城公園指定管理者

一般社団法人岡崎パブリックサービス

【協力】一般社団法人 日本甲冑武具研究保存会東海支部

日本美術刀剣保存協会三河支部

①黒漆塗本小札紫糸素懸丸具足(当館蔵) ②金箔押変塗鞘肥後太刀拵(個人蔵) ③黒石目塗鞘御召鎧大小拵(個人蔵)

④鉄黒漆塗十二間四方白筋丸(当館蔵) ⑤金泥漆酢漿草紋早合(個人蔵) (背景)武器図(個人蔵)

 三河武士のやかた 家康館

日本の武器・武具

～ 追求される実用と興趣～

刀剣・甲冑・弓矢・鉄砲…日本の武器・武具は、多種多様で枚挙にいとまがありません。古来より戦場において、武器・武具は敵を攻撃するため、また敵の攻撃から自分の身を守るために使用されてきました。それと同時に、独創性・デザイン性に富んだ優美な美術品としても価値を見出されました。これらは長い年月をかけて発展を遂げていき、日本の歴史に大きく影響を与えてきました。

本展覧会は日本の武器・武具に焦点を当てたもので、江戸時代に成立した『武器図説』で取り上げられる絵図とともに数多くの資料を紹介します。武器・武具が持つ本来の姿を明らかにするとともに、美術工芸品としての魅力も引き出していきます。本展をご覧いただき、先人たちが追い求め続けた武器・武具の実用と興趣の一端に触れていただけますと幸いです。



小袴式伊予佩楯(個人蔵)



背負い旗「佐々木九郎兵衛」(個人蔵)



紺糸威鉄錆地桶側胸取二枚胴具足(部分、個人蔵)

《 関連イベント 》

1 記念講演会

「日本の甲冑史-東海地方ゆかりの品々からたどる-(仮)」

- 日時:6月22日(日)14:00~15:30 ●講師:山田怜門氏(名古屋刀剣博物館学芸員)
- 場所:翼閣(岡崎城公園内) ●定員:30人(事前申込・先着)
- 申込:5月10日(土)9:00から電話(TEL.0564-24-2204)にて受付開始、定員に達し次第受付終了

2 これであなたも武将様!? 甲冑試着体験会

- 日時:4月19日(土)・20日(日)、5月3日(土・祝)・4日(日・祝)・5日(月・祝)・6日(火)、6月28日(土)・29日(日)
10:00~12:00、13:00~15:00 ※受付は各回30分前まで
- 場所:当館エントランスホール集合
- 参加費:入館料のみ

3 最難関! 紙兜づくりに挑戦しよう

- 日時:4月26日(土)・27日(日)、5月24日(土)・25日(日)、6月21日(土)・22日(日) (なくなり次第終了)
- 場所:当館エントランスホール ●参加費:入館料のみ



三河武士のやから 家康館

〒444-0052 愛知県岡崎市康生町561-1 岡崎城公園内 TEL.0564-24-2204

■ 交通案内

- 名鉄「東岡崎駅」より徒歩15分
 - 愛知環状鉄道「中岡崎駅」より徒歩15分
 - 名鉄東岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車→「康生町」下車→徒歩5分
 - JR岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車→「康生町」下車→徒歩5分
- 車の場合は東名高速道路「岡崎I.C.」より名古屋方面へ3km(国道1号沿い)

■ 入館料

大人(中学生以上)/400円 小人(5歳以上)・市民割(高校生以上)/200円
市内に住所を有する中学生以下の方又は65歳以上の方及び、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、Withカードのいずれかを所持する方は無料。
※岡崎市民の方は住所及び生年月日の確認できるもの(運転免許証及び健康保険証など)をご提示ください。

■ 駐車場案内 《利用時間》24時間

乗用車 ▶ [7:00~22:00] 150円/30分 [22:00~翌日7:00] 50円/30分 上限1,500円
バス ▶ [7:00~22:00] 2,000円/1回 [22:00~翌日7:00] 1,000円/1回 上限3,000円

